

## ■ ■ ■ 2月のレクリエーション・ゲーム ■ ■ ■

### 【指導者の方へ】

涅槃会はもちろんです、節分・ひな祭りなど行事の多い時期ですね。真宗と節分は関係ないかもしれませんが、「鬼」や「ひな人形」など大切な事を子どもたちに伝える良い教材かも知れません。いろんな鬼ごっこも寒いときだからこそ、身体が暖まって良いものです。

### ☆お面を作ろう。

ゴム風船・古新聞・デンブンのり・はさみ・色紙・マジック・ゴムなどを用意。

自分の顔くらいの大きさにゴム風船をふくらませる。

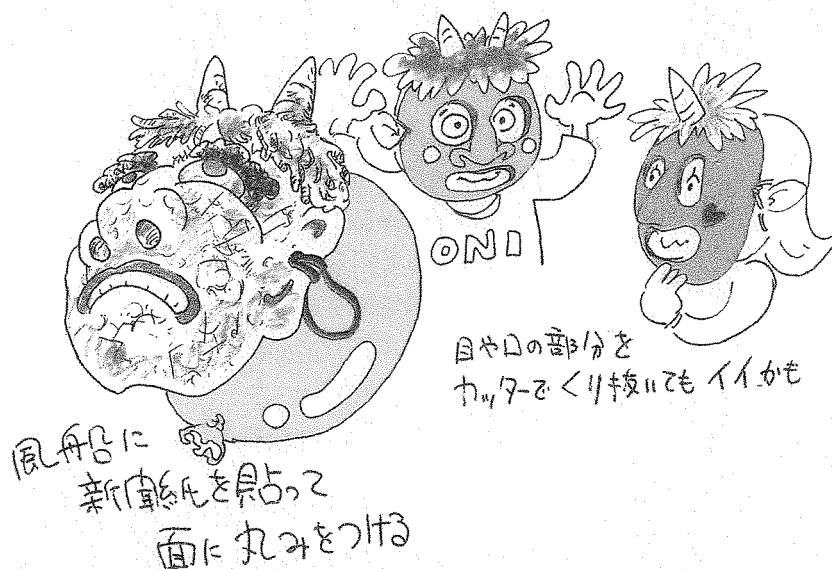
2～4センチ大に切った古新聞を風船の半面に、のりを水で溶いて薄くして貼っていく。

ランダムに貼り重ねて、全体が3重くらいになるようにする。

顔や髪の毛などを、古新聞と同じように小さく切った色紙を貼って、色づけする。

よく乾かしてから、マジックで目などを入れて、最後に風船からはずしゴム穴を開けて、ゴムを通して完成。

時間があれば、色紙を貼らず、乾いてからポスターカラーなどで、色をぬって仕上げると良い。



世間では「節分・豆まき」や「バレンタインデー」がTVを中心に席卷しています。「節分・豆まき」では真宗では関係ないと無視するのではなく、「鬼は外」と豆をまく自分自身が実は、時にはとんでもない「鬼」となっている、またいつでも「鬼」と豹変する可能性（危険性）を持っていることを子どもに伝えることも大切かと思えます。